

堀口委員が過去3年間の地区委員としての経験から受け入れに関する資料を作成して次回の地区委員会に提出する予定。

- b) 小林チームリーダーがR I 第5690地区のガバナー、ガバナーノミニ、チームリーダーと懇談をし、第5690地区からのG S Eチームは5月10日(土)成田着に内定
- c) 当地区の受け入れのG S E研修プログラム案を今年の10月末頃までにR I本部へ報告する必要がある。

6) その他

- a) R I 第7870地区 (アメリカ・ニュージャージー州) からG S Eに関する打診がある。
- b) 6月15日の地区委員長会議には平柳委員が代理で参加する予定。
- c) 次年度(1998年4月)に予定しているR I 第7570地区 (米国バージニア州) とのG S Eプログラムに関する準備を開始しなければならない。
- d) 次回委員会開催日: 7月8日に予定し、主として受け入れに関して協議する。

◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北	7月17日	86.15 %
出 席	36名		函 館 東	7月16日	89.69 %
欠 席	31名		函 館	7月11日	90.56 %
他クラブ出席	20名		函館五稜郭	7月12日	100.00 %
出席合計	56名		函館亀田	7月15日	92.73 %
除 外 者	2名				

次回・8月14日

自主休会

プログラム

8月21日 納涼家族会
ハーバービューホテル 18時30分



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ルイス・ビセンテ・ジアイ 1996~97年度 国際ロータリー会長テーマ

築け未来を—行動力と先見の眼で。

Build the future with action and vision



8月7日卓話 水嶋 清氏

《第1597回例会》 第7号 8月21日(水)

本日のプログラム

「納涼家族会」

ハーバービューホテル 18時30分

★会 長 西尾昌一 ★幹 事 佐々木公和

例会場: 函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 事務所: 函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870

1996～1997

〈第1596回例会〉第 6 号

8月7日の記録

◎司 会 西尾 昌一 会長 ◎斉 唱 君が代、奉仕の理想

◎ゲ ス ト 七飯町長 水嶋 清 氏

ロータリー財団奨学生 工藤 裕 さん

◎ビジター 函館R.C. 元廣輝重君・半田幸一郎君・澄 信一 君、

函館東R.C. 渡辺 晃 君・佐川啓一君、

函館五稜郭R.C. 黒田博史君・松本 明 君・大日向豊吉君

◎会長報告 西尾 昌一 会長

○ガバナーから公式訪問終了のご挨拶が届きました。

○新谷会員のお父上様ご逝去いたしました。昨日お通夜に参列致しました。謹んでご冥福をお祈り致します。

○本日、当クラブがスポンサーを致しまして合格し、この度留学致します
ロータリー財団奨学生の工藤君が見えております。ご挨拶戴きます。

◎財団奨学生のお礼と報告 ロータリー財団奨学生 工藤 裕 さん

現在私は、東北大学の博士課程で理論言語学を専攻しています。今月の末からアメリカのコネチカット大学にロータリー財団の国際奨学生として留学することが決定しております。ロータリーの精神にのっとり、種々の会合や活動に参加し、微力ではありますが、ロータリーに貢献したいと考えております。今後共、皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

◎幹事報告 佐々木公和 幹事

○和歌山城南R.C. から会報が届きました。回覧致します。

○他クラブ情報 8月13日(火)函館東R.C. 8月15日(木)函館R.C. は各自主休会です。メイキャップは各会場でお受け致します。又、この期間、合同事務所はクローズしています。

○当クラブは、次週8月14日(木)は自主休会です。

○8月21日(木)は、例会を変更して夜間例会となっております。出欠のご返報は早めをお願い致します。

○例会終了後、理事・役員会を開催致します。

◎親睦活動委員会 鈴木 伸一 副委員長

ニコニコBOX投入報告

森(秀) 会員……水嶋町長をお迎えして。よろしく申し上げます。

西尾 会長……BOXに協力(月初めですので!)

佐々木幹事…… ”

山本 会員…… ”

緒方 会員…… ”

増山 会員…… ”

阿相 会員…… ”

増田 会員…… ”

眞部 会員…… ”

加藤(久)会員…… ”

石上 会員…… ”

金子 会員…… ”

小笠原会員……BOXに協力

中川 会員……8月8日はノースアイランダーズの練習日です。

小池 会員……結婚祝い、ありがとうございました。

吉田 会員……水嶋町長お忙しい中、ご苦労さまです。

鈴木 会員……誕生月です。

山崎 会員…… //

◎卓話 「我が町を語る」 七飯町長 水嶋 清 氏

今、各市町村は国の景気政策による所得税の減税によって、自治体財政は急速に悪化している。

一方、地方分権推進法の成立によって、地方分権の流れは加速され、受け皿として政策形成能力が自治体に求められて来ている現状である。これらの自治体は、量的なスリム化と、質的な能力向上を同時に実現する必要があります。

自治体には政策能力、財政力によって、地方自治体間というか、地域・地域という競争原理が働き、雇用機会、住環境等併せて住民に満足度の高い行政サービスを提供できる地方だけが発展することとなります。

このことを考えると、その町の政策能力と財政力がいかに大切であるかがわかるし、一市三町での広域での事務、事業処理も必要となってきます。

こうしたことを基本として、七飯町は緑豊かな大地を抱える町であり、これからの町づくりの基本は“グリーンステージななえーともに生きる福祉環境都市をめざして”と柱をかかげています。

具体的には、 1. 豊かな自然と共生するまち

2. 健康で安心して暮らせるまち

3. 緑豊かな住みよい生活環境のまち

4. 創造性豊かな生涯学習のまち

5. 産業の連携による活気あるまち

6. 地域基盤の整備されたまち

7. 住民とともに取り組むまち

づくりをしていきます。

また、今年3月5日の駒ヶ岳噴火は多くの教訓を残し、私達は大きな体験と防災の見直しをしています。防災に強い町づくりにも取り組みをしなければなりません。

新幹線の基本計画が年内にも策定されることから、道民は北海道新幹線誘致実現に強い意気込みをもって陳情を繰り返しており、是非、北海道新幹線の着工の優先などが盛り込まれるよう願っています。

未整備区間3線のうち、北海道新幹線は延長360km、建設費1兆3千億円と大きな財源を要するものではあるが、日本全土のバランスのとれた発展のためにも不可欠であります。

只、これが実現に向かうと在来線問題が、当町にとっては大きな問題となってきます。町民の多くは函館市に通勤・通学、そして大沼国定公園という長いJR沿線を抱える当町であります。在来線は現JRから切り離し、地元運営というのが基本的考えであります。

新幹線と同じように当町の交通体系が変わってくるのが北海道縦貫自動車道であります。この体系も南基点が七飯町であり、大沼や函館を中心とする観光地間や都市間相互を結ぶ上での役割と広域観光ルートの形成、駒ヶ岳という噴火災害を守る役割、農業生産基地と市場をより早く強く結ぶ

役割として大きな期待をもっています。

そうした意味では、今までの町づくりは、南を向いての町づくりから、藤城・峠下という西を向いた町づくりへその割合を変えていく必要となってきます。

いずれにしても高齢化・国際化の中で、市町村の数も縮小合併や、広域での行政事務処理をしていく時代が来ます。一市三町は、地域連合のような形で協力しあっていかなければなりません。成熟した社会、ハード整備は終わってソフト面で協力し合うことが大切であります。

◎ 出席報告

会 員 数	68名	出 席 率	函 館 北	7月24日	87.69%
出 席	45名		函 館 東	7月23日	92.86%
欠 席	23名		函 館	7月18日	93.97%
他クラブ出席	12名		函館五稜郭	7月19日	100.00%
出席合計	57名		函館亀田	7月22日	89.09%
除 外 者	3名				

次回・8月28日

プログラム

会員卓話「小型飛行機の話し」

石橋輝夫会員

会員各位

平成8年8月21日

函館北ロータリークラブ
幹事 佐々木 公和

今般、当クラブ会員より下記の方の入会推薦がありましたので、理事会はこれを職業分類委員会並びに会員選考委員会にはかりました結果、両委員会よりそれぞれ的確であると報告を受けました。

よって、理事会はその報告に基づき会員候補者として、これをクラブ内に事前発表することと致しました。

つきましては、同候補者の入会に対しご異議のある方は、来る8月27日までに書面により幹事あてお知らせ下さるようお願い致します。

氏 名	職 業 分 類	役 職 名	推 薦 会 員
上田 信行	地方銀行	(株)札幌銀行函館支店支店長	戸 栗 力
遠藤 光夫	パブ経営	(有)藤光 代表取締役	中 川 洲 平